

# 通知表「こぶし」を受け取ったら、 ご家庭でこんなことを話してみませんか



## 1 まずは頑張りを認めましょう

- ☐ 「1学期、よく頑張ったね。」
- ☐ 「どんなことが一番楽しかった？」
- ☐ 「自分で成長したと思うことは何？」



まずは結果よりも、努力や挑戦を認める言葉から始めていただくと、お子さんは安心して通知表を見ることができます。

## 2 教科の評価を見てみましょう

通知表は、次の三つの観点で評価しています。



**知識・技能** → 学習内容が身に付いているか



**思考・判断・表現** → 学んだことを使って考えたり、伝えたりできるか



**主体的に学習に取り組む態度**

→ 自分で学び方を工夫したり、振り返ったりしながら学ぼうとしているか

## 3 「生活の様子」にも目を向けてください

学校生活の中で育ってきた力が表れています。これらは、学力の土台となる非認知能力でもあります。

- ☐ 忘れ物をしないで学習の準備ができる



- ☐ チャイムを守って行動できる



- ☐ 身の回りの整理整頓ができる



- ☐ 係などの仕事を責任もってできる



## 4 夏休みに見直したいこと



家庭の学習環境

- ☐ 学習する時間が決まっている



- ☐ 学習する場所が整っている



- ☐ 読書する時間がある



生活習慣

- ☐ 早寝・早起き・朝ごはん



- ☐ ゲームやスマートフォンの約束



- ☐ 家庭での役割や手伝い



子どもへの声掛け

「何点だった？」



「どんなことを頑張った？」

「どんな工夫をした？」

「2学期は何に挑戦したい？」

という会話を大切にいただければと思います。

通知表「こぶし」が、ご家庭でお子さんの成長と一緒に喜び、次の目標を考えるきっかけとなれば幸いです。

